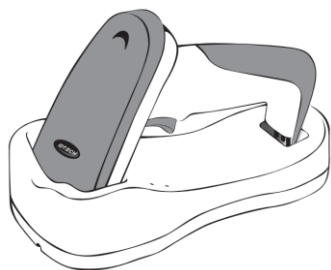


# **IDTECH<sup>®</sup>**

Value through Innovation



## **BluScan<sup>™</sup>**

**バーコードスキャナ**

**ユーザマニュアル**

80106502-001 rev.A

## FCC警告文

本装置は、FCC Part 15 Class Bデジタル装置の規格テストに合格しています。これは、本装置が商業施設の中で稼働した際の有害な干渉を可能な限り防ぐための規制です。本装置は、無線周波数エネルギーを生成、使用、放射し、本取り扱い説明書に従って設置しない場合、無線通信に有害な干渉を生じる恐れがあります。

## FCC準拠ステートメント

本装置は、FCC Part 15規格に準拠しています。本装置は、以下の条件で稼働するかぎり、有害な干渉を生じず、また、目的外の動作を生じうる干渉も受容します。

## CANADIAN DOC STATEMENT

本デジタル装置は、カナダ通信省の規定する無線干渉規則Class A規制を超えた無線ノイズを発生しません。

Le présent appareil numérique n'émet pas de bruits radioélectriques dépassant les limites applicables aux appareils numériques de la classe B prescrites dans le Règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par les ministères des Communications du Canada.

## CEスタンダード

CE要件に準拠するためのテストは、外部独立機関によって行われました。テストされた製品は、FCC Part 15 Class A規制に準拠しています。

## 保証内容

ID TECHは、直接購入者に対し、送り状記載日から36ヶ月間、本製品が正常に稼働し、通常使用において、装置内部および外装ともに瑕疵が無いことを保証します。本保証に関しての弊社の義務は、保証期間内に送料、保険料前払いで出荷元工場に戻され、弊社の規準による調査により瑕疵が明らかになった製品の交換、修理、または返済のいずれかに限定されます。いかなる製品や装置の取外しや再設置に要する費用は、本保証には含まれません。いかなる個人および法人も、製品販売時に、上記以上の保証責任を付加する権限を有しません。瑕疵が保証範囲内であっても、装置製品の瑕疵に依り購入者または第三者に生じた特別な損害に関して、その軽重を問わず責任を追うものではありません。購入者の受けられる瑕疵製品への保証は、販売条件にかかわらず、弊社による交換または修理のみです。保証期間中の保証サービスに関しては、Return Material Authorization (RMA)番号と、製品返品方法をお問い合わせください。

本保証は、他のいかなる商業上または特定目的の責任に代わって適用されます。本規定に記載以外のいかなる明示的または黙示的保証はいたしません。本製品は現状有姿で販売されます。弊社は、いかなる場合も、製品の正規使用または誤使用、契約条件に準じない販売、組立てにより生じた、直接、近接、予見可能、重大または特別な損害にかかわる費用に関して、明示的または黙示的な、注意義務違反の責を負うものではありません。

本書に記載の情報は、ユーザの便宜のために提供されます。情報の正確性について万全の注意を払っておりますが、本書の誤記や記載漏れによって生じた、利益損失やいかなる商業的損害、または使用により生じた法令違反、第三者の特許またはその他の権利の侵害にも責任を追うものではありません。本書に記載された仕様は作成時のものであり、予告無しに変更されることがあります。

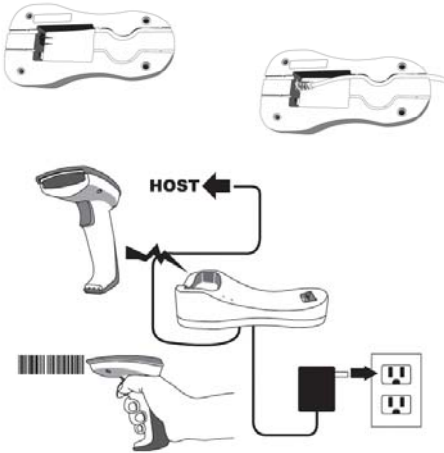
© 2009 International Technologies & Systems Corporation 本書に記載の情報は、ユーザの便宜のために提供されます。情報の正確性について万全の注意を払っておりますが、本書の誤記や記載漏れによって生じた、利益損失やいかなる商業的損害に責任を追うものではありません。本書に記載された仕様は作成時のものであり、予告無しに変更されることがあります。

ID TECHは、International Technologies & Systems Corporationの登録商標です。BluScanおよびValue through Innovationは、International Technologies & Systems Corporationの商標です。

## インストール

BluScanワイヤレスイメージャは、簡単にインストールし使用できます。  
インストールは、下記の図の手順に従ってください。

注記：インストール前に、ホストコンピュータの電源を切ってください。



1. インターフェース(I/F)ケーブルをクレードルに接続します。
2. 電源コードをクレードルに接続します。
3. I/Fケーブルと電源コードを、製品裏のくぼみに沿って取り付けます。
4. I/Fケーブルを、ホストコンピュータのコミュニケーションポートに接続します。
5. AC電源をコンセントに差し込みます。
6. イメージャをクレードルに置き、チャージLEDが点滅していることを確認します。初回使用前には、最低8時間充電してください。
7. 動作を確認するには、先ずイメージャをクレードルにつなぎます(5ページ「ワイヤレス接続」を参照)。イメージャをバーコードにあて、トリガを引きます。イメージャがビープ音を発し、バーコードがスキャンされクレードルに正常に転送されたことを知らせます。

## Bluetooth USB DongleによるBluScan™とPCの接続

BluScanは、Bluetooth USB DongleによってPCに接続できます。

1. 次のバーコードをスキャンしPINコードを0000に設定するかまたは、マニュアル22ページを参照して、使用するBluetoothデバイスに対応した4.6個のキャラクタPINコードを設定し、スキャナをBluetooth接続モードにします。

### クレードル/ dongle接続自動検知 -

イメージはクレードルやその他のBluetooth動作デバイスに接続されません



\*\$%-1AB01%%\*

### PINコードを0000に設定

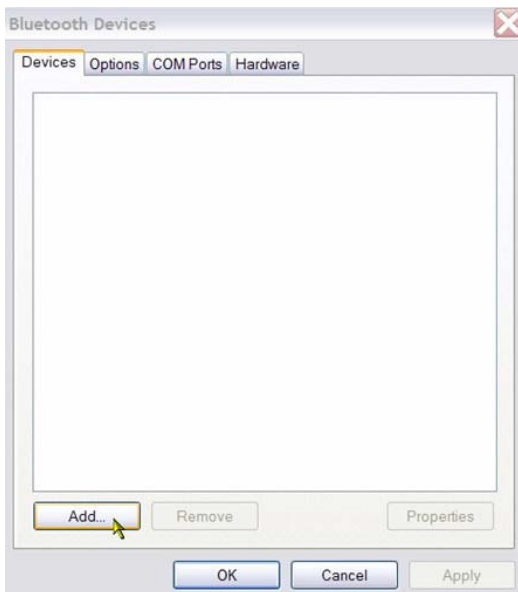


\*\$%-\$0000%%\*

2. Bluetooth Dongleを正常にPCに接続すると、タスクバーにBluetoothサインが表示されます。サインをダブルクリックすると、Bluetoothデバイスプロンプトが表示されます。



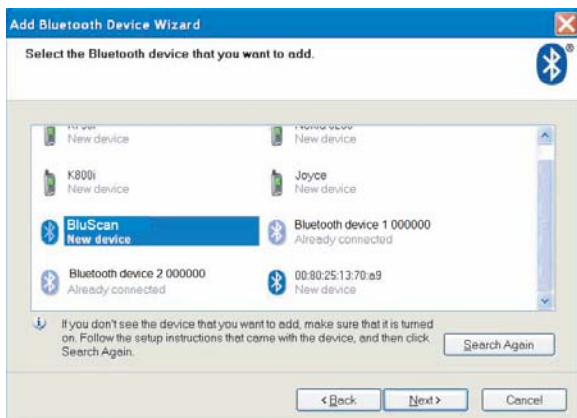
プロンプトで、「Add」をクリック：



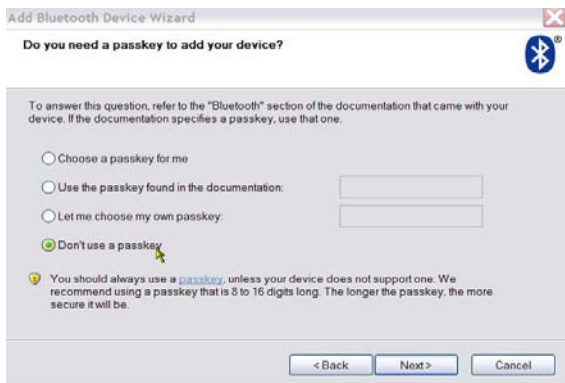
3. オプション「My device is set up and ready to be found」  
にチェックを入れ、「Next」をクリック



4. 表示されるBluetoothデバイスから「BluScan」を選択し、  
「Next」をクリック：



5. 「Don't use a passkey」を選択し、「Next」をクリック。  
Bluetooth接続によって、BluScanのBluetoothデバイスが  
インストールを開始します。



## 接続解除

イメージャをクレードルから接続解除するには、3通りの方法があります。



\*\$%-SZZ%\*

### イメージャの接続解除とスリープ設定

1. 「**イメージャの接続解除とスリープ**」のバーコードをスキャン  
– イメージャがクレードルの通信範囲内にあるときに上記バーコードを読み取ると、両デバイスの接続が解除され、他のイメージャをクレードルに接続可能になります。同時に、イメージャを「Deep Sleep」モードに設定します。イメージャが接続したクレードルの通信範囲外にあるときに上記バーコードを読み取ると、イメージャは接続が解除されますが、クレードルの接続は維持されるため、他のイメージャとの接続はできません。この場合、他のイメージャを接続するには、以下2つの操作を行ってください。
2. 「**Link**」ラベルをスキャンし、元のクレードルに戻す –  
クレードルがイメージャと接続されていて、その接続がクレードルの通信範囲外で停止したり、イメージャのバッテリーが切れた場合、クレードルの「Link」ラベルを新たなイメージャでスキャンしてクレードルに置きます。クレードルは前の接続を解除し、新たなイメージャと新しい接続を確立します。
3. **新たなクレードルの「Link」ラベルをスキャンする。**–  
クレードルの「Link」ラベルをスキャンすると、前の接続は解除され、イメージャと新たなクレードルの接続を確立します。新たな接続が元のクレードルの通信範囲内で行われた場合、「Link」ラベルを読み取った次のイメージャと接続が可能です。元のクレードルの通信範囲外で行われた場合、新たなイメージャが「Link」ラベルをスキャンしてクレードルに置かれるまで、前の接続は維持されます。



## バッテリーの充電

イメージャには、1000mAhのリチウムイオンリチャージャブルバッテリーが入っています。フル充電時で、最大55,000スキャン15時間の稼働が可能です。イメージャの実際の充電持続時間は、本マニュアルに記載のプログラム可能な機能で行われた設定に依存します。特に、「Deep Sleep」モードの設定がバッテリー持続時間に大きく影響します。

イメージャがクレードルに置かれているときは、自動的に充電されます。充電が行われている間チャージLED（バッテリーマーク付き）が緑に点滅します。バッテリーがフル充電されると、チャージLEDが緑に常時点灯します。

充電回路やバッテリーの問題で充電に異常がある場合、チャージLEDが赤く点滅します。この場合、バッテリーを再設置してください。

## バッテリーの交換

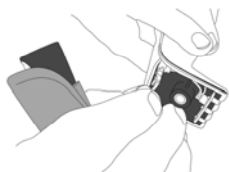
イメージャの内蔵バッテリーを交換する場合は、下記の手順に従ってください。



1. イメージャ底部のねじを  
緩めます。



2. バッテリー容器をイメージャから  
取り外します。



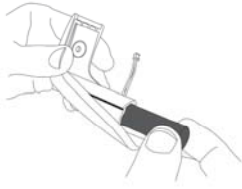
3. バッテリーケーブルコネクタを  
ハンドルボードから取り外します。



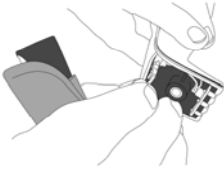
4. 使用済みのバッテリーを  
バッテリー容器から取り出します。



5. 新しいバッテリーパックと、  
古いパックと交換します。



6. 新しいバッテリーを  
バッテリー容器に入れます。



7. バッテリーケーブルコネクタを  
ハンドルボードに取り付けます。



8. バッテリー容器をイメージ  
ハンドルに戻します。



9. イメージャのねじを締めます。

**注記：**バッテリー交換時にイメージャ内部の基板には手を触れないでください。  
不適切な操作はイメージャを損傷する恐れがあります。

## 「Deep Sleep」モード

WIRELESSイメージャは、プログラムした（装置の最終スキャン操作後の）経過時間後「Deep Sleep」モードに入る設定が可能です。

- 「Deep Sleep」モードのディセーブル（デフォルト）



- 経過時間10分 – バーコード読取が10分間行われなかった場合、「Deep Sleep」モードに入る



- 経過時間30分 – バーコード読取が30分間行われなかった場合、「Deep Sleep」モードに入る



- 経過時間60分 – バーコード読取が60分間行われなかった場合、「Deep Sleep」モードに入る



- 経過時間90分 – バーコード読取が90分間行われなかった場合、「Deep Sleep」モードに入る



## ワイヤレス接続

BluScanは、他デバイスとの接続が可能なすべてのBluetooth (BT) 対応のデバイスに接続可能です。この機能を使用するには、最初にイメージャを「クレードル/ドングル接続自動検知」に設定する必要があります。次に、PINコードを、使用するデバイスに割り振られた0000に設定します。この場合、Bluetooth対応機器のPINコードを使用するイメージャと同じ0000に設定します。

- **クレードル接続のみ** – イメージャをクレードルでのみ使用 (デフォルト)



- **クレードル/ドングル接続自動検知**  
– イメージャをクレードルまたはその他のBluetooth対応機器のいずれにも接続可能



- **クレードル/ドングル接続自動検知** – PINを1回だけ検知




- **PINコードを0000に設定**



**注記：**イメージャはドングル接続時、「シリアルポートプロフィール」のみをサポート

ユーザは、使用するBluetoothデバイスに割り振られた  
4-6キャラクタのPINコードを、以下の手順で設定できます。

ステート	コード
クレードル/ドングル 接続自動検知	 *\$\$-1AB01%\$*
プログラム	 *\$\$+PRO*
PIN設定開始	 *#PIN*
PIN番号 (4-6キャラクタ設定)	 */0*  */1*  */2*  */3*  */4*  */5*  */6*  */7*  */8*  */9*
PIN設定終了	 *%\$\$*

## 確認ビープ音調整

クレードルがイメージャに接続されていないとき、ラジオLEDが黄色に点灯し、クレードルがビープ音を発します。ビープ音は消したり、以下のプログラム用バーコードを使用して、間隔を変更することも可能です。

- **確認ビープ音のディセーブル**



\*\$%-5AJ00%%\*

- **確認ビープ音継続（デフォルト）**



\*\$%-5AJ08%%\*

- **確認ビープ音10秒間隔**



\*\$%-5AJ01%%\*

- **確認ビープ音20秒間隔**



\*\$%-5AJ02%%\*

- **確認ビープ音30秒間隔**



\*\$%-5AJ03%%\*

- **確認ビープ音40秒間隔**



\*\$%-5AJ04%%\*

- **確認ビープ音50秒間隔**



- **確認ビープ音60秒間隔**



- **確認ビープ音70秒間隔**





## クレードルビープ音量調整

クレードルのビープ音量は、以下のレベルに設定できます。

- クレードルビープ音オフ



- レベル1



- レベル2



- レベル3 (デフォルト)



- レベル4



- レベル5



- レベル6



- レベル7



## その他の機能

ユーザの便宜のために、BluScan(TM)ワイヤレスイメージャのその他の3機能について記載します。

- クレードルからファームウェアをダウンロード



\*\$%-+CP%\*

- クレードルから設定パラメータをダウンロード



\*\$%-+CC%\*

- クレードルの設定をリセット – 本機能により、イメージャの設定を工場出荷時にリセット



\*\$%-+IC%\*

**注記：**航空輸送規制により、出荷時はワイヤレスイメージャはクレードルから取り外します。

BluScan(TM)ワイヤレスイメージャは全製品、梱包出荷時に以下のコマンドをスキャンすることをお勧めします。



\*\$%-\$ZZ%\*

イメージャの接続解除とスリープ

デフォルト設定

各バーコード設定は以下を参照

コードタイプ	読取 イネーブル	チェックサム 検証 イネーブル	チェックサム 転送 イネーブル	コード ID
UPC-A	V	V	V	A
UPC-E	V	V	V	E
EAN-13	V	V	V	F
EAN-8	V	V	V	FF
Code-39	V			*
Interleaved 2 of 5	V			i
Industrial 2 of 5		-	-	i
Matrix 2 of 5				B
Codabar				%
Code-128	V	V		#
Code-93		V 2桁		&
Code-11		V 1桁		O
MSI/Plessey		V		@
UK/Plessey		V		@
Telepen				S
Standard 2 of 5		V	V	i
China Post				t
Italian Pharmacode.				p
Code-16K		-	-	
PDF417	V	-	-	
EAN UCC Composite		-	-	RC
GS1 Databar Omnidirectional				R4
GS1 Databar Limited				RL
GS1 Databar Expanded				RX
Micro-PDF		-	-	U

BluScan™	
仕様	IDBA-4223LRB / IDBA-4233LRB / IDBA-4243LRB
動作仕様	
光源	30 nm 可視赤色LED
光学システム	2048ピクセルCCD
スキャン深度	最大600mm (CODE 39, PSC=90%, 20mils)
スキャン幅	160mm
スキャン速度	450スキャン/秒
解像度	0.1mm (4mils) Code39,PCS=90%
プリントコントラスト	25%以上
スキャン角度	前面: 60° 背面: 60° 斜め: 70°
デコード機能	標準 バーコード全種と、PDF-417、GS1、DataBar Omnidirectionalコードを含む一部二次元バーコードを自動検知 その他のバーコードはオプションで注文可能
ピープ音	7段階音量または消音
インジケータまたはイメージャ	緑色または赤色LED
機構	
長さ	164 mm
幅 - ハンドル	30 mm
幅 - ヘッド	78 mm
奥行 - ハンドル	56 mm
奥行 - ヘッド	35 mm
クレードル	210 (L) x 109 (W) x 51 (H) mm
重量	250g未満 (バッテリー込み)
筐体素材	ABS (接触ポイントにモールド)
緩衝剤	二重注入
クレードルインターフェース	RS232, Keyboard wedge, USB
電気仕様	
入力電圧(クレードル)	5 VDC ± 10% VDC
電力 - 動作時(クレードル)	550 mW
電力 - 待機時(クレードル)	400 mW
電流 - 動作時(クレードル)	110 mA
電流 - 待機時(クレードル)	80 mA
充電電流(クレードル)	510 mA
入力電圧(イメージャ)	3.4V ~ 4.2V
電力 - 動作時(イメージャ)	851 mW
電力 - 待機時(イメージャ)	67 mW
電流 - 動作時(イメージャ)	230 mA
電流 - 待機時(イメージャ)	18 mA
電流 - スリープ時(イメージャ)	2 mA
光量	最大70000 Lux
対衝撃性(イメージャ)	コンクリート上1.5m落下
対衝撃性(クレードル)	コンクリート上90cm落下
防塵	防塵 (IP42)
換気	不要
プログラム	
プログラム手法	マニュアル(特殊バーコード対応), Windows設定プログラム
プログラムアップグレード	内蔵フラッシュメモリにより可能
プログラム可能キャラクタ	コードタイプ選択, チェックディジット選択, デコードオプション, デコードオプション, 転送キャラクタ ディレイ, ヘッド選択, トレイラ選択, メッセージサフィックス, 正常読取ピープ音トーンと音量, ス キャナトリガ選択, キーボードエミュレーションタイプ, (インターメッセージディレイ, キーボードタ イプおよび言語), シリアルインターフェースタイプ (ACK/NAK, Xon/Xoff, RTS/CTS, 正常読取 LED調整, 開始/終了ビット)
注記: 電流はRMS(実効値)で表示	

# Indications of BluScan™

## Imager:

	Status	Green LED	Red LED	Orange LED	Beeper
LED	Link established	Blink once			A special beep
	Hardware fail		Flash		
	Program download	Flash			
	Program checksum fail		Flash		
	Data transmitting	ON			High freq. Beep for 300msec
	Data trans. Fail		ON for 300msec		Error beep
	Data trans. OK	ON for 200msec			Good beep
	Low battery (<3.2V) (Trigger is pressed)			Flash	

## Cradle:

	Status	Green LED	Red LED	Orange LED	Beeper
RF status LED	Inquiry			Blink	Beeps once a second
	Connecting			Blink	
	Link established	ON			
	Hardware fail		Flash		
	Data receiving from the scanner			ON for 0.5sec	
	Barcode data proof or transmitted				Good beep
	Data send to the host Fail				Error beep
	Program download	Flash			
	Program checksum Fail			Flash	
Battery LED	Idle				
	Charging	Blink			
	Battery full	ON			
	Battery/charger Fail		Blink		

## BluScan(TM)のプログラミング

BluScan(TM)をプログラムするには、一連のプログラミングバーコードを正しい順番でスキャンします。マニュアルの巻末を参照してください。各種オプションをプログラムするために必要な英数字バーコード表も掲載されています。

### 各オプションをプログラムするには、

1. パラメータ設定パートのプログラムバーコードをスキャン
2. **オプションバーコード**をスキャンし、オプションモードに入ります（パラメータ設定パートに記載）
3. オプションバーコードの右に、必要な英数字入力のリストを記載しています。これらの英数字入力を巻末ページでスキャンします。上記の手順を終えたら、巻末ページの**Finish**バーコードをスキャンします
4. プログラミングを終了したら、各パラメータ設定パートの右下の**Exit**（終了）バーコードをスキャンします。






\*99-PRO\*

Program

Program Barcode

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *1AA*	Keyboard Wedge	00 *
Interface selection	RS-232	01
	Wand emulation	02
	USB	03
	Keyboard/RS-232	04
	Auto detection	
	Reserved	05



Exit

Option Barcode

Exit Barcode

Back Fold Out

Finish barcode

## インターフェースの選択

クレードルのモデルは1つで、キーボードウェッジ、RS232 シリアルウェッジ、USBインターフェースなどのインターフェースをサポートします。通常、デバイスコードの付いた適切なケーブルを選択すると各インターフェースに適応します。

インターフェース選択：工場出荷時のデフォルトインターフェースは他のインターフェースに変更できます。異なるケーブルを接続し適切なインターフェースを設定するとクレードルは別のインターフェースに変更されます。必要なケーブルは確認してください。


**キーボード/RS232/USB自動識別：** この機能を設定すると、ユーザのキーボードウェッジ、RS-232、USBのインターフェースを自動的に選択します。



\*\$%+PRO\*

Program

Note: \* -Default

<b>Option Bar Code</b>	<b>Option</b>	<b>Alphanumeric Entry</b>
 *IAA*	Keyboard Wedge	00
Interface selection	RS-232	01
	USB	03
	Keyboard	04 *
	/RS232/USB	
	Auto detection	



\*%\$\$\*

Exit

## キーボードウェッジ

キーボードインターフェースとしては、クレードルは標準的なPCとIBMターミナルのほとんどをサポートしています。ウェッジのインストールは簡単で、ソフトウェアやハードウェアの変更は必要ありません。

**キーボードタイプ**：ホストコンピュータのキーボードタイプコネクタを選択。クレードルは、ホストインターフェースのケーブルコンバータにあわせて選択



\*\$%+PRO\*

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数字 入力
 *2AA*	IBM AT, PS/2	00 *
<b>キーボードタイプ</b>	予約済み	01
	予約済み	02
	予約済み	03
	予約済み	04
	予約済み	05
	予約済み	06



\*%\$\$\*

終了

## キーボードウェッジ

**キーボードレイアウト：** キーボードレイアウトの選択は、USA  
キーボードレイアウト以外にも多くの国の言語をサポートしています。  
最初に、目的の言語を確認します。DOS環境では、「keyb」コマンドを  
使用して目的のキーボードレイアウトを選択し、Windowsでは、  
「Contorl」から「キーボード」の「言語」で国を選択します。詳細は、  
DOSやWindowsのユーザマニュアルを参照してください。

**キーボード速度：** データ転送の出力速度は、ホストコンピュータ  
にあわせて、選択して変更できます。通常は、高速動作として  
[00]か[01]に設定します。バーコードの出力キャラクタが失われる  
場合は、ホストのキーボード速度にあわせて[05]か[06]を設定します。

**ファンクションキー：** [イネーブル]に設定すると、イメージャは、  
ファンクションキー押下げとしてコードをアプリケーション  
プログラムに出力できます。バーコードデータは、0116から1F16  
のASCII値を持っています。ASCIIテーブルを参照してください。





**ニューメリックキー：** アプリケーションプログラムが、キーパッドの  
ニューメリックコードのみ受け付ける場合は [キーパッド]を選択する  
必要があります。これにより、クレードルがニューメリックディジット  
を読取った場合、ニューメリックキーパッドの押し下げとしてコード  
を出力します。



\*\$%+PRO\*

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数字 入力
------------	-------	-----------

 *2AB* キーボードレイアウト	USA ベルギー デンマーク フランス ドイツ イタリア ポルトガル スペイン スウェーデン スイス UK ラテンアメリカ 日本	00 * 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12
 *2AC* キーボードスピード	0-8 0: 高クロックレート 8: 低クロックレート	00-08 03 *
 *2AD* ファンクションキー	ディセーブル イネーブル	00 01 * 00 *
 *2AE* 英数字キー	アルファベットキー 数字キーパッド (Num lock状態のみ) Alt + キーパッド	01 02



## キーボードウェッジ

**Caps Lock:** [Caps lockオン]または[Caps lockオフ]を選択するとイメージャがCaps lockキーのステータスを取得できます。

**電源オンのシミュレーション:** PCは通常、電源オンのセルフテスト時にキーボードのステータスをチェックします。キーボードのインストールをせずに作業をする際は、機能を[イネーブル]にすることを勧めます。キーボードのタイミングをシミュレートしキーボードの現在のステータスを起動時のPCに渡します。

**インターキャラクタディレイ:** 各データキャラクタ転送の間にディレイが挿入されます。転送速度が速すぎる場合、システムがすべてのキャラクタを受け取れない可能性があります。速度を調整し適切なディレイを検証し、システムが正常に動作するようにしてください。

**転送ブロックディレイ:** バーコードデータの出力間のディレイを調整します。この機能は、短いバーコードデータを連続して転送したり複数フィールドをスキャンする際に使用します。



\*\$\$+PRO\*

## プログラム

オプションバーコード	オプション	英数字 入力
 *2AF* Caps lock	Caps lock" オン" Caps lock" オフ"	00 01 *
 *2AG* 電源オンシミュレーション	ディセーブル イネーブル	00 * 01
 *2AH* インターキャラクタディレイ	00-99 (msec)	00-99 02 *
 *2AI* 転送ブロックディレイ	00-99 (10 msec)	00-99 10 *



\*%\$\$\*

終了

## RS-232

**CTS:** (ハードウェアシグナル) 送信のためクリア

**RTS:** (ハードウェアシグナル) 送信のリクエスト

**Xon:** 転送をオン (ASCII Code 1116)

**Xoff:** 転送をオフ (ASCII Code 13 16)

### フロー制御:

**None-**通信にハードウェア、ソフトウェアのハンドシェイク  
プロトコルを考慮せず、TxDとRxDシグナルのみを使用。

**RTS/CTS-**クレードルがバーコードデータをホストコンピュータに  
送る場合、最初にRTSシグナルを発行し、ホストコンピュータから  
CTSシグナルを待ち、その後通常のデータ通信を行います。CTS  
シグナルが、タイムアウト経過時間 (応答ディレイ) 後ホスト  
コンピュータから返ってこない場合、イメージャは警告ビープ音を  
5回発します。

**Xon/Xoff-**ホストコンピュータがデータを受け取れない場合  
Xoffコードでデータ通信の一時停止を、Xonで継続を、クレードルに  
通知します。

**ACK/NAK-**ACK/NAKプロトコルを使用する場合、クレードルは  
データ通信後、ホストコンピュータからのACK (肯定応答) かNAK  
(否定応答) を待ち、NAKの場合再送信します。

**インターキャラクタディレイ:** データキャラクタ出力間のディレイ  
時間。キーボードウェッジの[インターキャラクタディレイ]と  
同じです。

**転送ブロックディレイ:** バーコードのデータ出力間のディレイ時間。  
キーボードウェッジの[転送ブロックディレイ]と同じです。

**応答ディレイ:** このディレイは、クレードルの連続通信がホスト  
コンピュータからのハンドシェイクの肯定応答を待つ場合に  
使用されます。





\*\$\$+PRO\*

## プログラム

オプションバーコード	オプション	英数字 入力
 *3AA* フロー制御	None RTS/CTS Xon/Xoff ACK/NAK RTS/CTS ブラケット モード	00 * 01 02 03 04
 *3AB* インターキャラクタディレイ	00-99 (msec)	00-99 00 *
 *3AC* 転送ブロックディレイ	00-99 (10 msec)	00-99 00 *
 *3AD* 応答ディレイ	00-99 (100 msec)	00-99 20 *



\*%\$\$\*

終了



\*\$\$+PRO\*

## プログラム

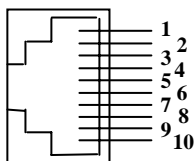
オプションバーコード	オプション	英数字 入力
 *3AE* ボーレート	300 BPS 600 BPS 1200 BPS 2400 BPS 4800 BPS 9600 BPS 19200 BPS 38400 BPS	00 01 02 03 04 05 * 06 07
 *3AF* パリティ	なし オッド イブン	00 * 01 02
 *3AG* データビット	8ビット 7ビット	00 * 01
 *3AH* ストップビット	1ビット 2ビット	00 * 01



\*%\$\$\*

終了

## ピンアサイン



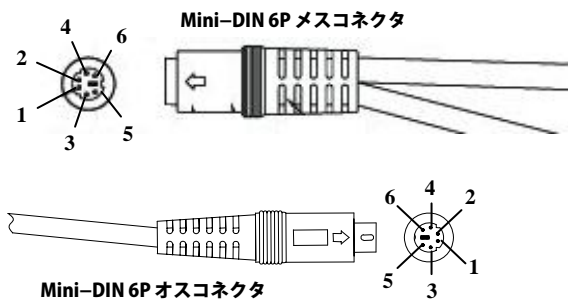
10ピン

### ASシリーズ10ピンRJ-45コネクタ

ピン	RS-232	キーボード
1	I/F	I/F
2	NA	NC
3	TXD	NC
4	NC	CLK / PC
5	GND	DATA / PC
6	CTS	DATA / KB
7	RXD	NC
8	RTS	CLK / KB
9	GND	GND
10	NC	GND

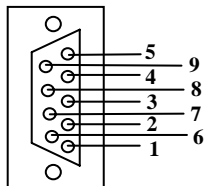
キーボードウェッジPS/2コネクタ（対ホスト側）：

ピン	Mini-DIN 6P オス	Mini-DIN 6P メス
1	DATA / PC	DATA / KB
2	NC	NC
3	GND	GND
4	VCC (+5V)	NA
5	CLK / PC	CLK / KB
6	NC	NC



RS-232 DB-9Fコネクタ（対ホスト側）：

ピン	定義
1	NC
2	TXD
3	RXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	CTS
8	RTS
9	NC



# スキャン

## スキャンモード：

**正常読取完了**－スキャンを開始するには、トリガボタンを押します。読取が正常に行われるか、コードのデコードが無く[待機時間]が経過した場合、イメージャの光源がスキャンを停止します。

**モメンタリ**－トリガボタンがスイッチとして動作します。ボタンを押すとスキャン開始、放すと停止します。

**オルタネート**－トリガボタンがトグルスイッチとして動作します。ボタンを押すとスキャンが開始/終了します。

**タイムアウトオフ**－トリガボタンを押すとスキャンを開始。コードのデコードが無く[待機時間]が経過した場合、イメージャはスキャンを停止します。

**コンティニュー**－イメージャが常に読取を継続。トリガボタンが押されたり、時間が経過しても関係ありません。

**テストオンリー**－テストスキャン動作のみ。転送データの正確性のチェックには使用しないでください。

**二重読取タイムアウト**：イネーブルの場合、イメージャは、データ確認のため複数回の正常デコードを必要とします。確認回数を増やすと、抑制された読取失敗コードが多く表示されます。二重確認を設定すると、マルチフィールドスキャンを同時にイネーブルにして使用できません。

**二重確認**：バーコードを2回スキャンした場合、最初のバーコードを受け付けます。

**サプリメントチェックカウンタ**：IUPCE/AやEAN-8/13などの拡張（サプリメント）を使用してバーコードを読取ると、信頼性が高まりますが、このカウンタを設定するとデコード速度は遅くなります。



\*S%+PRO\*

## プログラム

オプションバーコード	オプション	英数字 入力
 *7AA* スキャンモード	正常読取完了 モメンタリ オルタネート タイムアウトオフ コンティニュー テストオンリー	00 01 * 02 03 04 05
 *7AB* 待機時間	01-99 (秒)	00-99 06 *
 *7AC* 二重読取タイムアウト	01-99 (10 msec)	01-99 50 *
 *7AD* 二重確認	00-09 (00: 二重確認 なし)	00-09 00 *
 *7AE* サプリメントチェック カウンタ	00-64 (検証)	00-64 20 *



\*%S\$\*

Exit

## スキャン

**グローバル最短/最長コード長：** シンボロジーの最短/最長の可読コード長を定義。最短コード長より短いコード長、最長コード長より長いコード長は読み取られません。通常、最短/最長読取コードを同じ値に設定して、固定コード長のバーコードのデコードを可能にします。設定値は、固定長のシンボロジーには影響しません。各バーコードの最短/最長コード長を設定して、個別のバーコードの設定を指定できます。




- 注記**
- 1): 個別のバーコードに特別な設定が必要な場合、最短/最長コード長を設定してください。
  - 2): グローバル最短/最長コード長を設定する場合は、チェックサムディジットを追加してください。

**反転イメージスキャン：** [イネーブル]に設定すると、イメージは、黒地に白/白地に黒、いずれのバーコードもスキャンできます。



\*\$\$+PRO\*

## プログラム

オプションバーコード	オプション	英数字 入力
 *7AF* グローバル最短コード長	00-99	00-99 04 *
 *7AG* グローバル最長コード長	00-99	00-99 99 *
 *7AH* 反転イメージスキャン	ディセーブル イネーブル	00 * 01



\*%\$\$\*

終了



## インジケータ表示

**電源オンアラート：**クレードルは、電源投入後、セルフテスト正常終了を示すアラートシグナルを生成します。

**LEDインジケータ：**正常読取りごとに、イメージャ上部のLEDが点灯し、バーコード正常読取を表示します。

**ビープ音インジケータ：**正常読取りごとに、イメージャがビープ音を鳴らして、バーコード正常読取を表示します。  
[ビープ音の音量]、[ビープ音のトーンの頻度]、[ビープ音の継続時間]は設定可能です。

**ビープ音の音量/トーン頻度/継続時間：**[ビープ音の音量]、[ビープ音のトーンの頻度]、[ビープ音の継続時間]は設定可能で、正常読取完了やその他の任意の用途に適用できます。



\*%\$+PRO\*

## プログラム

オプションバーコード	オプション	英数字 入力
 *5AA* 電源オンアラート	ディセーブル イネーブル	00 01 *
 *5AB* LEDインジケータ	ディセーブル イネーブル	00 01 *
 *5AC* ビープ音インジケータ	ディセーブル クレードル受信 :PC 受信	00 01 * 02
 *5AD* ビープ音の音量	00-07 (00 - off)	00-07 07 *
 *5AE* ビープ音のトーンの頻度	00-99 (100Hz)	00-99 26 *
 *5AF* ビープ音の継続時間	00-99 (10 msec)	00-99 08 *



\*%\$\$\*

終了

# UPCA

フォーマット

先端0	データディジット (11 デジット)	チェック ディジット
-----	-----------------------	---------------

**読取：**読取機能のイネーブル/ディセーブル

**チェックサム転送：**[イネーブル]を設定すると、チェックサムが転送されます。

**先端/終端のトランケート：**バーコードのデータキャラクタの先端または終端は、この値が0に設定されるとトランケートされます。トランケート値がバーコードデータディジットを超えるか、先端トランケートが終端にオーバーラップされた場合、データを読み取らず、ビープ音を鳴らします。トランケートディジットの最長値は15です。

**コードID設定：**[コードID設定]は、続く読取のシンボルとして使用されます。[コードID設定]は、この機能を選択すると転送されたデータ先端か終端の前に付けられます。コードIDを転送するアプリケーションが必要な場合、コードID転送を最初に[イネーブル]にします。コードID転送を参照してください。



\*\$\$+PRO\*

## プログラム

オプションバーコード	オプション	英数字 入力
 *NAA* 読取	ディセーブル イネーブル	00 01 *
 *NAC* チェックサム転送	ディセーブル イネーブル	00 01 *
 *NAF* 先端のトランケート	0-15	00-15 00 *
 *NAG* 終端のトランケート	0-15	00-15 00 *
 *NAH* コードID設定	00-ffH ASCII コード	00-ffH < A > *



\*%\$\$\*

終了

# UPCA

**挿入グループ番号選択：**イメージャは、1つのシンボロジーあたり最大2つの挿入グループを提供します。どの挿入グループを設定するかを1つか2つのディジットで選択します。「キャラクタ選択」を参照してください。この機能は、特定のキャラクタをグループとして、選択したシンボロジーの転送データに挿入します。グループ番号を選択して、グループ挿入をイネーブルにします。

例：グループ2 → 02か20を設定

グループ1と4 → 14か41を設定

**注記 1):** グループ番号0は、グループ挿入不要を示します。

2): 挿入グループ設定についての詳細は、121–124ページと、130ページのASCIIコード表を参照してください。

**サブリメントディジット：** サプリメントディジットバーコードはWPCコードに追加される2から5のキャラクタです。

フォーマット




先端0	データディジット (11 ディジット)	チェック ディジット	サブリメント ディジット 2, 5, UCC/EAN 12
-----	------------------------	---------------	----------------------------------

**トランケート/拡張：** UPCAデータキャラクタの先端の0ディジットはこの機能がイネーブルだとトランケートされます。



\*\$%+PRO\*

### プログラム

オプションバーコード	オプション	英数字 入力
 *NAI* 挿入グループ番号 選択	00-44	00-44  00 *
 *NAJ* サプリメントディジット	なし 2 デイジット 5 デイジット 2,5 デイジット UCC/EAN 128 2, UCC/EAN 128 5, UCC/EAN 128 すべて	00* 01 02 03 04 05 06 07
 *NAK* トランケート/ 拡張	なし 先端0の読取  EAN13へ拡張	00 01 *  02



\*%\$\$\*

終了

# UPCE

読取：フォーマット

先端0	データディジット (6ディジット)	チェック ディジット
-----	----------------------	---------------

**チェックサム転送：** イネーブルを選択すると、チェックサムを転送

**先端/終端のトランケート：** UPCAの先端/終端のトランケートを参照

**コードID設定：** UPCAのコードID設定を参照



\*\$%+PRO\*

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数字 入力
<p>*OAA*</p> <p>読取</p>	ディセーブル イネーブル	00 01 *
<p>*OAC*</p> <p>チェックサム転送</p>	ディセーブル イネーブル	00 01 *
<p>*OAF*</p> <p>先端のトランケート</p>	0-15	00-15 00 *

 *OAG* 終端のトランケート	0-15	00-15 00 *
 *OAH* コードID設定	00-ffH ASCII コード	00-ffH < E > *



終了



# UPCE

**挿入グループ番号選択：** 55ページのUPCAの挿入グループ番号選択を参照。

## Supplement digits:

フォーマット

Leading Zero	Data Digits (6 Digits)	Check Digit	Supplement Digits 2 or 5 or UCC/EAN 128
-----------------	---------------------------	----------------	---

**拡張：** 拡張の機能は、UPCEとEAN-8コード読取にのみ使用されます。この機能がイネーブルになると、0を付けた13ディジットまで拡張します。

例：バーコード “0123654”

出力：“0012360000057”



**UPCE-1:** イメージャをイネーブルにすると、先端ディジット1を付けてUPCEを読取ります



\*S%+PRO\*

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数字 入力
 挿入グループ番号 選択	00-44	00-44 00 *

 *OAJ* サプリメントディジット	なし 2 デジット 5 デジット 2,5 デジット UCC/EAN 128 2, UCC/EAN 128 5, UCC/EAN 128 すべて	00 * 01 02 03 04 05 06 07
 *OAK* トランケート/拡張	なし 先端0を トランケート EAN13へ拡張 UPCAへ拡張	00 * 01  02 03
 *OAL* 拡張	ディセーブル イネーブル	00 * 01
 *OAM* UPCE-1	ディセーブル イネーブル	00 * 01



終了

## EAN-13

読取：フォーマット

データディジット (12ディジット)	チェックディジット
--------------------	-----------

**チェックサム転送**： Bイネーブルを選択すると、チェックサムを転送

**先端/終端のトランケート**： UPCAの先端/終端のトランケートを参照


**先端0をトランケート**： RUPCAのトランケート/拡張を参照



\*\$%+PRO\*

プログラム

オプションバーコード	オプション	英数字 入力
 *GAA* 読取	ディセーブル イネーブル	00 01 *
 *GAC* チェックサム転送	ディセーブル イネーブル	00 01 *
 *GAF* 先端をトランケート	0-15	00-15 00 *

 *GAG* 終端をトランケート	0-15	00-15 00 *
---	------	---------------



\*%\$\$\*

終了

## EAN-13

コードID設定：UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照

挿入グループ番号選択：RUPCAの挿入グループ選択を参照

### サブリメントディジット：

フォーマット

Data Digits (12 Digits)	Check Digits	Supplement Digits 2 or 5 or UCC / EAN 128
----------------------------	-----------------	---




**ISBN/ISSN:** ISBN (International Standard Book Number)とISSN (International Standard Serial Number) は、書籍と雑誌の2種類のバーコードです。ISBNは978から始まる10桁で、ISSNはEAN-13シンボロジーの977から始まる8桁です。

例：バーコード “9789572222720” – 出力： “9572222724”  
例：バーコード “9771019248004” – 出力： “10192484”



Program

<b>Option Bar Code</b>	<b>Option</b>	<b>Alphanumeric Entry</b>
 Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < F > *
 Insert group number selection	00-44	00-44 00 *

 *GAJ* Supplement digits	None 2 digits 5 digits 2,5 digits UCC/EAN 128 2, UCC/EAN 128 5, UCC/EAN 128 All	00 * 01 02 03 04 05 06 07
 *GAL* ISBN/ISSN conversion	Disable Enable	00 * 01
 *GAM* ISBN ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH <   > *



Exit

## EAN-8

読取：フォーマット

Data Digits (7 Digits)	Check Digits
---------------------------	-----------------

**チェックサム転送**：Bイネーブルに設定すると、チェックサムを転送

**先端/終端のトランケート**：RUPCAの先端/終端のトランケートを参照




**コードID設定**：UPCAのコードID設定を参照

**挿入グループ番号選択**：UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照



**Program**

<i>Option Bar Code</i>	<i>Option</i>	<i>Alphanumeric Entry</i>
 Read	Disable Enable	00 01 *
 Check-sum transmission	Disable Enable	00 01 *
 Truncate leading	0-15	00-15 00 *

 *FAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *FAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH, 00-ffH < FF > *
 *FAI* Insert group number selection	00-44	00-44 00 *



\*%\$\$\*

**Exit**



## EAN-8

サブリメントディジット：フォーマット

Data Digits (7 Digits)	Check Digits	Supplement Digits 2 or 5 or UCC/EAN 128
---------------------------	-----------------	---



トランケート/拡張：RUPCEの先端0のトランケートを参照


拡張：UPCEの拡張を参照



\*\$%+PRO\*

Program

<i>Option Bar Code</i>	<i>Option</i>	<i>Alphanumeric Entry</i>
 *FAJ* Supplement digits	None	00 *
	2 digits	01
	5 digits	02
	2,5 digits	03
	UCC/EAN 128	04
	2, UCC/EAN 128	05
	5, UCC/EAN 128	06
	All	07
 *FAK* Truncation / Expansion	None	00 *
	Truncate leading zero	01
	Expand to EAN13	02

 *FAL* Expansion	Disable	00 *
	Enable	01



**Exit**

## UPC/EAN Prefix Combination




UPC/EANフォーマットのバーコードに、サブリメンタリのキャラクタを追加します。ID TECHでは、プレフィックスのコンビネーションによるサブリメンタリを追加する（または、しない）ことで出力データをユーザが設定できる機能を提供しています。





定義されたコンビネーションプレフィックスを選択した場合、スキャナはサブリメントを付けてバーコードをデコードします。サブリメントディジット（2桁または5桁）は必ずイネーブルにしてください。自動識別機能をイネーブルにして、必要なコンビネーションプレフィックスをスキャンすることもできます。サブリメンタリが認識されないと、バーコードは読み取られません。バーコードプレフィックスが定義されたコンビネーションと異なった場合、バーコードサブリメントなしで転送されます。



\*\$%+PRO\*

Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *4AJ* Auto-discrimination	Disable Enable	00 * 01
 *4AK* Prefix 378/ 379	Disable Enable	00 * 01
 *4AL* Prefix 414/419	Disable Enable	00 * 01

 *4AM* Prefix 434/439	Disable Enable	00 * 01
 *4AN* Prefix 977	Disable Enable	00 * 01
 *4AO* Prefix 978	Disable Enable	00 * 01
 *4AP* Prefix 979	Disable Enable	00 * 01



\*%\$\$\*

**Exit**

## Code 39

読取：フォーマット

Start “★”	Data Digits ( Variable)	Checksum (Optional)	End “★”
--------------	----------------------------	------------------------	------------

**チェックサム検証：**Code-39のチェックサムはオプションで、データディジットの数字の値のサムモジュール43として生成されます。

**チェックサム転送：**[イネーブル]を選択すると、チェックサムが転送されます。

**最長/最短コード長：**各シンボロジーは、最長/最短コード長を持っています。これらは、データ入力を認定するために設定できます。

最長/最短コード長が0の場合、グローバル最長/最短コード長は有効です。コード長は、送信される実際のバーコードデータ長に従って定義されます。リミットを超えた長さのラベルは拒否されます。最短の長さが最長の長さの設定を超えないように注意してください。シンボロジーのすべてのラベルが読取不能になります。場合によっては、最短と最長の読取長を同じにして、固定長のバーコードをデコードすることがあります。


**先端/終端のトランケート：**UPCAの先端/終端のトランケートを参照





**コードID設定：**UPCAのコードID設定を参照



\*\$%+PRO\*

Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *BAA*	Disable	00
Read	Enable	01 *

 *BAB* Check-sum verification	Disable Enable	00 * 01
 *BAC* Check-sum transmission	Disable Enable	00 * 01
 *BAD* Max. code length	00-64	00-64 00 *
 *BAE* Min. code length	00-64	00-64 01 *
 *BAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *BAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *BAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < * >



**Exit**

# Code 39

**挿入グループ番号選択**：55ページのUPCAの挿入グループ番号

選択を参照

**フォーマット**：[フルASCII]Code-39は、Code-39の拡張セットでASCIIコードの全データ128キャラクタを表します。ディジットの+,%, \$のひとつと、アルファベットのディジット（AからZ）が組み合わされます。


**アペンド**：この機能は、複数のシンボルを連続して1つのデータ入力として扱うことができます。イメージは埋め込みアペンドコード（Code-39の場合スペース）は転送しません。[イネーブル]にして他のシンボルがアペンドされたコードと一緒に読み取られると、コードは、コードID、プリアンブル、プレフィックス無しで転送されます。シンボルがアペンドされたコード無しでデコードされた場合、データはコードIDとプレフィックスは無しで転送されますがポストアンブルのサフィックスコードはアペンドされます。この機能は、Code-39の先頭の数値がスペースの場合使用されます。例： □123456.

**転送の開始/終了**：Code-39のキャラクタの開始と終了は、★です。すべてのデータディジットに2つの★を付けて転送できます。



\*\$%+PRO\*

Program

<b>Option Bar Code</b>	<b>Option</b>	<b>Alphanumeric Entry</b>
 *BAI* Insert group number selection	00-44	00-44 00 *

 *BAJ* Format	Standard Full ASCII	00 * 01
 *BAK* Append	Disable Enable	00 * 01
 *BAM* Start/end transmission	Disable Enable	00 * 01



**Exit**



## Interleaved 2 of 5

**Read:** Format

Data Digits (Variable)	Checksum (Optional)
---------------------------	------------------------

**チェックサム検証:** チェックサムはデータディジットの数字の値のサムモジュール10として生成されます。

**チェックサム転送:** イネーブルに設定すると、チェックサムを転送

**最長/最短コード長:** Code-39の最長/最短コード長を参照

**先端/終端のトランケート:** UPCAの先端/終端のトランケートを参照



**コードID設定:** UPCAのコードID設定を参照

**挿入グループ番号選択:** UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照



\*\$%+PRO\*

**Program**

<i>Option Bar Code</i>	<i>Option</i>	<i>Alphanumeric Entry</i>
 *IAA* Read	Disable Enable	00 01 *
 *IAB* Check-sum verification	Disable Enable	00 * 01

 *IAC* Check-sum transmission	Disable Enable	00 * 01
 *IAD* Max. code leading	00-64	00-64 00 *
 *IAE* Min. code leading	00-64	00-64 00 *
 *IAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *IAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *IAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < i > *
 *IAI* Insert group number selection	00-44	00-44 00 *



Exit

## Industrial 2 of 5

読取：フォーマット

Data Digits (Variable)	Checksum (Optional)
---------------------------	------------------------

最長/最短コード長： Code-39の最長/最短コード長を参照

先端/終端のトランケート： UPCAの先端/終端のトランケートを参照




コードID設定： UPCAのコードID設定を参照





挿入グループ番号選択： UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照



\*\$%+PRO\*

Program

<i>Option Bar Code</i>	<i>Option</i>	<i>Alphanumeric Entry</i>
 *HAA* Read	Disable Enable	00 * 01
 *HAD* Max. code length	00-64	00-64 00 *
 *HAE* Min. code length	00-64	00-64 00 *

 *HAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *HAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *HAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < i > *
 *HAI* Insert group number selection	00-44	00-44 00 *



**Exit**

## Matrix 2 of 5 Eur

読取：フォーマット

Data Digits (Variable)	Checksum (Optional)
---------------------------	------------------------

**チェックサム検証：**チェックサムは、すべてのデータディジットの数字の値のサムモジュール10として生成されます。

**チェックサム転送：**イネーブルに設定すると、チェックサムを転送

**最長/最短コード長：** Code-39の最長/最短コード長を参照

**先端/終端のトランケート：** UPCAの先端/終端のトランケートを参照

**コードID設定：** UPCAのコードID設定を参照

**挿入グループ番号選択：** UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照



\*\$%+PRO\*

Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *PAA* Read	Disable Enable	00 * 01
 *PAB* Checksum Verification	Disable Enable	00 * 01

 *PAC* Checksum Transmission	Disable Enable	00 * 01
 *PAD* Max. code length	00-64	00-64 00 *
 *PAE* Min. code length	00-64	00-64 00 *
 *PAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *PAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *PAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < B > *
 *PAI* Insert group number selection	00-44	00- 44 00 *



**Exit**

# Codabar

読取：フォーマット

Start	Data Digits (Variable)	Checksum (Optional)	End
-------	------------------------	---------------------	-----

**チェックサム検証：** チェックサムは、すべてのデータディジットの数字の値のサムモジュール16として生成されます。

**チェックサム転送：** イネーブルに設定すると、チェックサムを転送

**最長/最短コード長：** Code-39の最長/最短コード長を参照

**先端/終端のトランケート：** UPCAの先端/終端のトランケートを参照







**コードID設定：** UPCAのコードID設定を参照



\*\$%+PRO\*

Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *EAA* Read	Disable	00 *
	Enable	01
 *EAB* Checksum Verification	Disable	00 *
	Enable	01

 *EAC* Checksum Transmission	Disable Enable	00 * 01
 *EAD* Max. code length	00-64	00-64 00 *
 *EAE* Min. code length	00-64	00-64 00 *
 *EAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *EAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *EAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < % > *



**Exit**



# Codabar

**挿入グループ番号選択：** UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照

**開始/終了タイプ：** Codabarには4組の開始/終了パターンがあり、アプリケーションにあわせて、1組を選択できます。

**開始/終了転送：** Code 39の開始/終了転送を参照



\*\$%+PRO\*

Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *EAI* Insert group selection	00-44	00-44 00 *
 *EAJ* Start/End type	ABCD/ABCD abcd/abcd ABCD/TN*E Abcd/tn*e	00 * 01 02 03
 *EAK* Start/End transmission	Disable Enable	00 01 *



\*%\$\$\*

Exit

## Code-128

読取：フォーマット

Data Digits (Variable)	Checksum (Optional)
---------------------------	------------------------

**チェックサム検証：**チェックサムは、すべてのデータディジットの数字の値のサムモジュール103として生成されます。

**チェックサム転送：** [イネーブル]に設定すると、チェックサムを転送



\*\$%+PRO\*

Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *DAA* Read	Disable Enable	00 01 *
 *DAB* Checksum Verification	Disable Enable	00 01 *
 *DAC* Checksum Transmission	Disable Enable	00 * 01



\*%\$\$\*

Exit

# Code-128

**最長/最短コード長：** Code-39の最長/最短コード長を参照

**先端/終端のトランケート：** UPCAの先端/終端のトランケートを参照

**コードID設定：** UPCAのコードID設定を参照

**挿入グループ番号選択：** UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照

**フォーマット：** Code-128は、FNC1キャラクタで始まる場合、[UCC/EAN-128]フォーマットにトランスレートされます。先頭のFNC1は]C1にトランスレートされ、次はフィールドセパレータコードとして<GS>(1D16)になります。







]C1	Data	<GS>	Data	Checksum
-----	------	------	------	----------

**アペンド/FNC4制御：** アペンド機能がイネーブルされるとイメージャがFNC2コードを含むバーコードを読み取ったときデータがすぐには表示されません。すべてのデータが表示されるのは、FNC2コードを持たないバーコードを読み取った後です。FNC4がイネーブルされると、イメージャはFNC4コードの付いたデータを送信します。FNC4が無視されると、イメージャは、FNC4コードなしでデータを送信します。



**Program**

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 Max. code length	00-64	00-64 00 *
 Min. code length	00-64	00-64 01 *

 *DAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *DAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *DAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < # > *
 *DAI* Insert group number selection	00-44	00-44 00 *
 *DAJ* Format	Standard UCC/EAN-128	00 * 01
 *DAK* Append / FNC4 control	Disable/Enable Enable/Enable Disable/Ignore Enable/Ignore	00 * 01 02 03



**Exit**

## Code-128

**ISBTイネーブル：** この機能は通常、血液銀行で識別のために使用されます。




**ISBT連続タイムアウト：** .この機能は、ISBTの連続タイムアウト時間を設定するために使用されます。

**フィールドセパレータコード：** この機能は、[UCC/EAN-128]フォーマットにのみ使用されます。フィールドセパレータコードは、用途に応じて、2番目もしくはFNC1の後を割り振り直すことができます。ASCIIコードのデフォルトは、<GS>(1D16)です。

**UCC/ EAN 128 ID設定：** UCC/EAN-128出力フォーマットのコードIDを設定します。



Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *DAL* ISBT enable	Disable Enable normal	00 * 01
 *DAM* Field separator code	00-ffH ASCII code	00-ffH 1DH *
 *8AK* UCC/EAN-128 ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < # > *



Exit

## Code-93

読取：フォーマット

Data Digits (Variable)	Checksum1 (Optional)	Checksum2 (Optional)
---------------------------	-------------------------	-------------------------

**チェックサム検証**：チェックサムは、すべてのデータディジットの数字の値のサムモジュール47として生成されます。

**チェックサム転送**：イネーブルに設定すると、チェックサムを転送



\*\$%+PRO\*

Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *CAA* Read	Disable Enable	00 * 01
 *CAB* Checksum Verification	Disable Enable (two digits)	00 01 *
 *CAC* Checksum Transmission	Disable Enable	00 * 01



\*%\$\$\*

Exit

## Code-93

**最長/最短コード長：** Code-39の最長/最短コード長を参照

**先端/終端のトランケート：** UPCAの先端/終端のトランケートを参照

**コードID設定：** UPCAのコードID設定を参照



**挿入グループ番号選択：** UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照



\*\$%+PRO\*

Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *CAD* Max. code length	00-64	00-64 00 *
 *CAE* Min. code length	00-64	00-64 00 *
 *CAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *CAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *

 *CAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < & > *
 *CAI* Insert group number selection	00-44	00-44 00 *



**Exit**



## Code-11

読取：フォーマット

Data Digits (Variable)	Checksum1 (Optional)	Checksum2 (Optional)
---------------------------	-------------------------	-------------------------

**チェックサム検証：**チェックサムは、すべてのデータディジットの数字の値のサムモジュール11として提示されます。

**チェックサム転送：**イネーブルに設定すると、チェックサム1とチェックサム2は、選択したチェックサム検証方法で転送されます。

**最長/最短コード長：** Code-39の最長/最短コード長を参照

**先端/終端のトランケート：** UPCAの先端/終端のトランケートを参照

**コードID設定：** UPCAのコードID設定を参照

**挿入グループ番号選択：** UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照



\*\$%+PRO\*

Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *AAA* Read	Disable Enable	00 * 01
 *AAB* Checksum Verification	Disable One digit Two digits	00 01 * 02

 * AAC * Checksum Transmission	Disable Enable	00 * 01
 * AAD * Max. code length	00-64	00-64 00 *
 * AAE * Min. code length	00-64	00-64 00 *
 * AAF * Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 * AAG * Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 * AAH * Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < O > *
 * AAI * Insert group number selection	00-44	00-44 00 *


**Exit**

## MSI/Plessey

読取：フォーマット

Data Digits (Variable)	Checksum1 (Optional)	Checksum2 (Optional)
---------------------------	-------------------------	-------------------------

**チェックサム検証：** MSI/Plesseyは1個か2個のオプションのチェックサムディジットを持っています。チェックサムは、[Mod10]、[Mod10/10]、[Mod 11/10]の3種類の方法で、提示されます。チェックサム1とチェックサム2はデータディジットのサムモジュール10または11として計算されます。

**チェックサム転送：** [イネーブル]を設定すると、チェックサム1とチェックサム2は、選択したチェックサム検証方法で転送されます。

**最長/最短コード長：** Code-39の最長/最短コード長を参照

**先端/終端のトランケート：** UPCAの先端/終端のトランケートを参照

**コードID設定：** UPCAのコードID設定を参照

**挿入グループ番号選択：** UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照



\*\$%+PRO\*

Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *KAA* Read	Disable	00 *
	Enable	01
 *KAB* Checksum Verification	Disable	00
	Mod 10	01 *
	Mod 10/10	02
	Mod 11/10	03

 *KAC* Checksum Transmission	Disable Enable	00 * 01
 *KAD* Max. code length	00-64	00-64 00 *
 *KAE* Min. code length	00-64	00-64 00 *
 *KAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *KAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *KAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < @ > *
 *KAI* Insert group number selection	00-44	00-44 00 *



**Exit**

# UK/Plessey

読取：フォーマット

Data Digits (Variable)	Checksum1+2 (Optional)
---------------------------	---------------------------

**チェックサム検証：** UK/Plesseyは1個か2個のオプションのチェックサムディジットを持っています。チェックサム1とチェックサム2はデータディジットのサムモジュール10または11として計算されます。

**チェックサム転送：** [イネーブル]に設定すると、チェックサムを転送

**最長/最短コード長：** Code-39の最長/最短コード長を参照

**先端/終端のトランケート：** UPCAの先端/終端のトランケートを参照

**コードID設定：** UPCAのコードID設定を参照

**挿入グループ番号選択：** UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照



\*\$%+PRO\*

Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *LAA* Read	Disable Enable	00 * 01
 *LAB* Checksum Verification	Disable Enable	00 01 *

 *LAC* Checksum Transmission	Disable Enable	00 * 01
 *LAD* Max. code length	00-64	00-64 00 *
 *LAE* Min. code length	00-64	00-64 00 *
 *LAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *LAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *LAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < @ > *
 *LAI* Insert group number selection	00-44	00-44 00 *



**Exit**

# Telepen

**読取:** IATA (International Air Transport Association)

**チェックサム検証:** チェックサムはデータディジットのサムモジュール10または11として提示されます。

**チェックサム転送:** [イネーブル]に設定すると、チェックサムを転送

**最長/最短コード長:** Code-39の最長/最短コード長を参照

**先端/終端のトランケート:** UPCAの先端/終端のトランケートを参照




**コードID設定:** UPCAのコードID設定を参照








**挿入グループ番号選択:** UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照



\*\$%+PRO\*

**Program**

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *MAA* Read	Disable Enable	00 * 01
 *MAB* Checksum Verification	Disable Enable	00 * 01
 *MAC* Checksum Transmission	Disable Enable	00 * 01

 *MAD* Max. code length	00-64	00-64 00 *
 *MAE* Min. code length	00-64	00-64 00 *
 *MAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *MAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *MAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < S > *
 *MAI* Insert group number selection	00-44	00-44 00 *
 *MAJ* Format	Numeric only Full ASCII only	00 * 01



**Exit**



## Standard 2 of 5

読取：Format

Data Digits (Variable)	Checksum1 (Optional)
---------------------------	-------------------------

**チェックサム検証：** チェックサムは、すべてのデータディジットの数字の値のサムモジュール10として生成されます。

**チェックサム転送：** イネーブルに設定すると、チェックサムを転送

**最長/最短コード長：** Code-39の最長/最短コード長を参照

**先端/終端のトランケート：** UPCAの先端/終端のトランケートを参照



**コードID設定：** UPCAのコードID設定を参照

**挿入グループ番号選択：** UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照



\*\$%+PRO\*

Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *JAA*	Disable Enable	00 * 01
Read		
 *JAB*	Disable Enable	00 * 01
Check-sum verification		

 *JAC* Check-sum transmission	Disable Enable	00 * 01
 *JAD* Max. code length	00-64	00-64 00 *
 *JAE* Min. code length	00-64	00-64 00 *
 *JAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *JAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *JAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < i > *
 *JAI* Insert group number selection	00-44	00-44 00 *



**Exit**

# China Post

読取：フォーマット

Data Digits (Variable)	Checksum1 (Optional)
---------------------------	-------------------------

最長/最短コード長：Code-39の最長/最短コード長を参照

先端/終端のトランケート：UPCAの先端/終端のトランケートを参照

コードID設定：UPCAのコードID設定を参照





挿入グループ番号選択：UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照



\*\$%+PRO\*

Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *SAA* Read	Disable Enable	00 * 01
 *SAD* Max. code length	00-64	00-64 11 *
 *SAE* Min. code length	00-64	00-64 11 *

 *SAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *SAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *SAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < t > *
 *SAI* Insert group number selection	00-44	01-44 00 *



**Exit**

## Italian Pharmacode (Code 32)

読取：フォーマット

Data Digits (Variable)	Checksum1 (Optional)
---------------------------	-------------------------

最長/最短コード長：Code-39の最長/最短コード長を参照

先端/終端のトランケート：UPCAの先端/終端のトランケートを参照

コードID設定：UPCAのコードID設定を参照

挿入グループ番号選択：UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照







先端A：この機能がイネーブルされていると、各データのプレフィックスがAになります。



\*\$%+PRO\*

Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *WAA* Read	Disable Enable	00 * 01
 *WAD* Max. code length	00-64	00-64 12 *

 *WAE* Min. code length	00-64	00-64 09 *
 *WAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *WAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *WAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	01-ffH < p > *
 *WAI* Insert group number selection	00-44	00-44 00 *
 *WAJ* Leading "A"	Disable Enable	00 * 01



\*%\$\$\*

**Exit**

## Code-16K





**先端/終端のトランケート**：UPCAの先端/終端のトランケートを参照


**コードID設定**：UPCAのコードID設定を参照

**挿入グループ番号選択**：UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照



**Program**

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 Read	Disable Enable	00 * 01
 Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < > *

 *RAI* Insert group number selection	00-44	00-ffH 00-44 00 *
--	-------	-------------------------



\*%\$\$\*

**Exit**



## PDF-417

**先端/終端のトランケート**：UPCAの先端/終端のトランケートを参照







**コードID設定**：UPCAのコードID設定を参照

**挿入グループ番号選択**：UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照



\*\$%+PRO\*

### Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *QAA* Read	Disable Enable	00 01 *
 *QAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *QAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *QAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < P > *
 *QAI* Insert group number selection	00-44	00-44 00 *
 *QAJ* Escape sequence transmit	Disable Enable	00* 01



\*%\$\$\*






## EAN UCC Composite


クーポン拡張コードアプリケーション用。クーポン拡張コードはUCC/EAN-128シンボロジーのUPC/EANの右に印刷されたサブリメンタリのバーコードです。



\*\$%+PRO\*

Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *YAA* Read	Disable Enable	00 * 01
 *YAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *YAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *YAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < RC > *
 *YAI* Insert group number selection	00-44	00-44 00 *

 *YAK* UCC / EAN128 emulation	Disable Enable	00 * 01
---	-------------------	------------



\*%\$\$\*

**Exit**

# GS1 DataBar Omnidirectional

読取：フォーマット

Data Digits (Variable)	Checksum1 (Optional)
---------------------------	-------------------------

**先端/終端のトランケート**：UPCAの先端/終端のトランケートを参照

**コードID設定**：UPCAのコードID設定を参照

**挿入グループ番号選択**：UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照






**UCC/EAN 128エミュレーション**：転送を参照、コードIDの転送はAIM IDをイネーブルにします。JC1がバーコードデータ転送のプレフィックスとして定義されます。



\*\$%+PRO\*

**Program**

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *TAA*	Disable	00 *
	Enable	01
Read		

 *TAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *TAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *TAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < R4 > *
 *TAI* Insert group number selection	00-44	00-44 00 *
 *TAK* UCC/EAN128 emulation	Disable Enable	00 * 01



Exit

# GS1 DataBar Limited

読取：フォーマット

Data Digits (Variable)	Checksum1 (Optional)
---------------------------	-------------------------

**先端/終端のトランケート**：UPCAの先端/終端のトランケートを参照

**コードID設定**：UPCAのコードID設定を参照

**挿入グループ番号選択**：UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照



**U♀UCC/EAN 128エミュレーション**：GS1 DataBar OmnidirectionalのUCC/EAN 128エミュレーションを参照



\*\$%+PRO\*

**Program**

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
<p>*UAA*</p> <p>Read</p>	<p>Disable</p> <p>Enable</p>	<p>00 *</p> <p>01</p>
<p>*UAF*</p> <p>Truncate leading</p>	<p>0-15</p>	<p>00-15</p> <p>00 *</p>
<p>*UAG*</p> <p>Truncate ending</p>	<p>0-15</p>	<p>00-15</p> <p>00 *</p>

 *UAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < RL > *
 *UAI* Insert group number selection	00-44	00-44 00 *
 *UAK* UCC/EAN128 emulation	Disable Enable	00 * 01



**Exit**



# GS1 DataBar Expanded

読取：フォーマット

Data Digits (Variable)	Checksum1 (Optional)
---------------------------	-------------------------

**先端/終端のトランケート**：UPCAの先端/終端のトランケートを参照

**コードID設定**：UPCAのコードID設定を参照

**挿入グループ番号選択**：UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照





**UCC/EAN 128エミュレーション**：GS1 DataBar OmnidirectionalのUCC/EAN 128エミュレーションを参照



\*\$%+PRO\*

**Program**

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *VAA* Read	Disable Enable	00 * 01
 *VAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *

 *VAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *VAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < RX > *
 *VAI* Insert group number selection	00-44	00-44 00 *
 *VAK* UCC/EAN128 emulation	Disable Enable	00 * 01



**Exit**

## Micro-PDF

**先端/終端のトランケート**：UPCAの先端/終端のトランケートを参照

**コードID設定**：UPCAのコードID設定を参照



**挿入グループ番号選択**：UPCAの挿入グループ番号選択の55ページを参照



\*\$%+PRO\*

### Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *XAA* Read	Disable Enable	00 01 *
 *XAF* Truncate leading	0-15	00-15 00 *
 *XAG* Truncate ending	0-15	00-15 00 *
 *XAH* Code ID setting	00-ffH ASCII code	00-ffH < U > *

 *XAI* Insert group number selection	00-44	00-44  00 *
 *XAJ* Escape sequence transmit	None  GLI protocol  ECI protocol	00  01  02 *



\*%\$\$\*

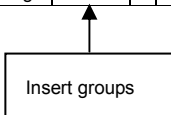
**Exit**

## ストリング設定/転送 (プレフィックス/サフィックス)

**プレフィックス/サフィックスキャラクタ設定：**プレフィックスまたはサフィックスとして定義されたキャラクタは、すべてのシンボロジーでスキャンしたデータと一緒にすぐに転送されます。最大22のASCIIキャラクタを、プレフィックスやサフィックスとして定義できます。

### バーコードデータ転送のフォーマット

Prefix	Name	Preamble	ID	Code Length	Barcode Data	ID	Postamble	Suffix
--------	------	----------	----	-------------	--------------	----	-----------	--------



\*\$%+PRO\*

**Program**

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
<p>*8AA*</p> <p>Prefix characters setting</p>	<p>None</p> <p>1-22 characters</p>	<p>00 *</p> <p>00-ffH ASCII code</p>
<p>*8AB*</p> <p>Suffix characters setting</p>	<p>None</p> <p>1-22 characters</p>	<p>0D *</p> <p>00-ffH ASCII code</p>



\*%\$\$\*

**Exit**

## ストリング設定/転送 (プリアンブル/ポストアンブル)

**プリアンブル/ポストアンブルキャラクタ：** プリアンブルまたはポストアンブルキャラクタは、すべてのシンボロジーのデータに自動的にアペンドされます。しかし、プリアンブル/ポストアンブルをイネーブルにしないと、転送されません。

**プリアンブル転送：** イネーブルに設定すると、転送されるデータの前にプリアンブルがアペンドされます。

**ポストアンブル転送：** イネーブルに設定すると、転送されるデータの後にポストアンブルがアペンドされます。

例：

プレフィックス/サフィックスまたはプリアンブル/ポストアンブルをすべてのシンボロジーに追加します。この例では、\$シンボルをすべてのシンボロジーのプレフィックスとして送信します。





手順

- 1) [プログラミング]と[プレフィックスキャラクタ設定]のバーコードをスキャン
- 2) ASCIIコード表で、\$→24の値を見つけます。
- 3) バーコード表から[2]と[4]をスキャンします。
- 4) バーコード表から[Finish]をスキャンします。
- 5) [Exit]バーコードをスキャンします。



\*%\$+PRO\*

**Program**

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
 *8AC* Preamble characters setting	1-22 characters	"PREAMBLE" * 00-ffH ASCII code
 *6AA* Preamble transmission	Disable Enable	00 * 01
 *8AD* Postamble characters setting	1-22 characters	"POSTAMBLE" * 00-ffH ASCII code
 *6AB* Postamble transmission	Disable Enable	00 * 01



\*%\$\$\*

**Exit**

## ストリング設定/転送 (グループキャラクタ挿入)

**G1/G2/G3/G4キャラクタ設定の挿入：** イメージャは、各22キャラクタのグループキャラクタを2つ、選択したシンボロジーの転送データに挿入することができます。2つのグループは、選択したスキャンデータの先端または終端の位置に挿入できます。最大4つのグループが利用できます。

**データグループ挿入位置：** バーコードデータに挿入するグループの位置を定義します。グループの挿入位置はコード長を超えてはいけないうことと、挿入はデータの終端に来ることに注意してください。

注記：デフォルト値の00は、グループがデータの先端に来ることを示します。64は、グループの位置がデータの終端であることを示します。

### データグループ設定手順：

- i. 挿入グループのキャラクタを設定
- ii. スキャンデータの各グループの挿入位置を設定
- iii. 各バーコードに挿入する1つか2つの挿入グループを選択  
詳細は各バーコードの設定ページを参照してください。

例：バーコード “1 2 3 4 5 6”

出力 - バーコード “1 2 A B 3 4 C D 5 6”

手順：

- 1) [プログラミング]をスキャンして、[G1キャラクタ設定]バーコードを挿入
- 2) ASCIIコード表で、A→41,B→ 42の値を見つけます。
- 3) [4, 1]と[4, 2]をバーコードでスキャンします。
- 4) [Finish]をバーコードでスキャンします。











- 5) 同じ手順で、[G2キャラクタ設定]を行います。
  - 6) Exitをバーコードでスキャンします。
- 
- 1) データグループ1-4位置の挿入  
使用する各バーコードを参照
  - 2) データグループ1-4位置の挿入：イメージャはシンボルに挿入する4位置を提供します。位置のデフォルトは00で、キャラクタ挿入がないことを示します。挿入位置は、シンボル長を超えないことに注意してください。超えてしまうと挿入データが無効となります。



\*\${}%+PRO\*

**Program**

<b>Option Bar Code</b>	<b>Option</b>	<b>Alphanumeric Entry</b>
 *8AE* Insert G1 characters setting	1-22 characters	"GROUP1" * 00-ffH ASCII code
 *8AF* Insert G2 characters setting	1-22 characters	"GROUP2" * 00-ffH ASCII code
 *8AG* Insert G3 characters setting	1-22 characters	"GROUP3" * 00-ffH ASCII code
 *8AH* Insert G4 characters setting	1-22 characters	"GROUP4" * 00-ffH ASCII code
 *6AC* Insert data group 1 position	00-64 (00: no insertion)	00-64 00 *

 *6AD* Insert data group 2 position	00-64 (00: no insertion)	00-64 00 *
 *6AE* Insert data group 3 position	00-64 (00: no insertion)	00-64 00 *
 *6AF* Insert data group 4 position	00-64 (00: no insertion)	00-64 00 *



**Exit**

## ストリング設定/転送 (その他)

**コードID位置：**用途によっては、転送時のコードIDの転送位置は[コードデータの前または後に]選択できます。

**コードID転送：**アプリケーションがコードIDを転送する必要がある場合、Proprietary IDかAIM IDに設定します。

**コード長転送：**[イネーブルに]したとき、コードデータの前に転送されるデータディジットの数。バーコードの全長は、先端/終端ディジットのトランケートを除いた数のバーコードデータです。データ長は2桁の数値です。






**コード名転送：**この機能は、イメージャが読み取り可能なすべてのシンボロジーを含む、未知のバーコードシンボロジーを示します。イネーブルを選択すると、コードデータの前にコード名が転送されるので、バーコードシンボロジーの種類がわかります。

**ケース変換：**スキャンしたデータキャラクタをすべて大文字または小文字で送信します。例えば、アップパーケースを選択すると12aBcDeFが12ABCDEFと変換されてホストに転送されます。



Program

Option Bar Code	Option	Alphanumeric Entry
-----------------	--------	-----------------------

 *6AG* Code ID position	Before code data After code data	00 * 01
 *6AH* Code ID transmission	Disable Proprietary ID AIM ID	00 * 01 02
 *6AI* Code length transmission	Disable Enable	00 * 01
 *6AJ* Code name transmission	Disable Enable	00 * 01
 *6AK* Case conversion (For barcode data only)	Disable Upper case Lower case	00 * 01 02


**Exit**

テストチャート (バーコードサンプル  
シンボル "\*" 初期値でイネーブル)

CODABAR-PARA



a154987a

CODE-11 PARA



654215

CODE-128 PARA \*



258963

CODE-39 PARA \*



\*741258\*

CODE-93 PARA



951263

EAN-13 PARA \*



7 534539 789813

PDF-417 \*



STANDARD-25 PARA



65978

CODE-16K



87549

EAN-8 PARA \*



9456 2156

INDUSTRIAL-25 PARA



04976

UPCE PARA \*



0 095601 1

**INTERLEAVED-25 PARA \***



46820

**MATRIX 25 PARA**



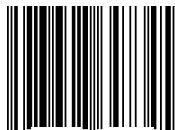
4563535663

**MSI/PLESSEY PARA**



754268

**UPCA PARA \***



5 73648 64734 5

**UK/PLESSEY PARA**



64872

**GS1 DataBar Omnidirectional**



**Micro-PDF \***





# ASCII Code Table Note: For keyboard wedge only.

L \ H	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

L \ H	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q a		q
2	"	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	'	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	★	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M	]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

## パラメータ設定リスト



\*\$%+PRO\*

Program



\*!BC\*

### バーコード標準パラメータ設定リスト

BluScan(TM)イメージャの現行バーコード読取設定を、ホストターミナル/コンピュータで表示したい場合、バーコード標準パラメータ設定リストのバーコードをスキャンします。



\*!SY\*

### システムパラメータ設定リスト

AS-8520イメージャの現行バーコード読取設定を、ホストターミナル/コンピュータで表示したい場合、システムパラメータ設定リストのバーコードをスキャンします。



### ストリング設定リスト

ストリングフォーマットリストを表示したい場合、ストリング設定リストのバーコードをスキャンします。



\*%\$\$\*

Exit

## 現行のクレードルファームウェアバージョンの間合せ



\*\$%+PRO\*

Program



\*!VR\*

### ファームウェアバージョンリスト

クレードルとイメージャのファームウェアバージョンを表示したい場合、ファームウェアバージョンリストのバーコードをスキャンします。



\*%\$\$\*

Exit

## クレードルの工場出荷時設定へのリセット



\*\$%-+IC%\*

### 警告：デフォルト値初期化

BluScan(TM)を工場出荷時初期設定に戻したい場合、上記のバーコードをスキャンします。クレードルは即時に工場出荷時設定に戻ります。

**注記：**この機能は、自動アップデートがイネーブルになっているときのみ利用可能です（11ページ参照）



*\*/0\**

**0**



*\*/1\**

**1**



*\*/2\**

**2**



*\*/3\**

**3**



*\*/4\**

**4**



*\*/5\**

**5**



*\*/6\**

**6**



*\*/7\**

**7**



*\*/8\**

**8**



*\*/9\**

**9**



*\*/A\**

**A**



*\*/B\**

**B**



*\*/C\**

**C**



*\*/D\**

**D**



*\*/E\**

**E**



*\*/F\**

**F**



*\*/%%\**

**Finish**